

2015（平成27）年度事業報告書

2015年4月1日～2016年3月31日



学校法人 聖隷学園

目次

1	法人の概要		
1	建学の精神	...	1 頁
2	学校法人の沿革	...	2 頁
3	設置する学校・学部・学科等	...	3 頁
4	学校・学部・学科等の学生数の状況	...	4 頁
5	役員の概要	...	6 頁
6	評議員の概要	...	7 頁
7	教職員の概要	...	8 頁
2	事業の概要		
1	事業の概要	...	9 頁
2	主な事業の目的・計画及びその進捗状況	...	16 頁
3	施設等の状況	...	27 頁
4	その他	...	27 頁
3	財務の概要		
1	決算の概要	...	28 頁
2	経年比較	...	31 頁
3	主な財務比率比較	...	34 頁
4	その他	...	37 頁

1 法人の概要

1 建学の精神

基本理念 「生命の尊厳を守り、自分のように隣人を愛する」

イエス・キリストが自ら弟子の足を洗い手本を示されたように、行って同じようにすること、人と共にあり、共に生きることを人生の目的と喜びとすること、病人や障害を持つ人、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、クリストファーが危険を冒し、命がけでイエス・キリストを背負ってライン河を渡ったように、これらの人々を大事にケアする人材が本学園から育つことを願っています。また、聖隷学園は地域の人々にとって役に立つ学園であることを願っています。地域社会の発展に貢献する人材、さらには、アメリカ・ヨーロッパや発展途上国で国際的に活躍する人材が巣立っていくことを期待しています。

聖隷とは

新約聖書のヨハネによる福音書第 13 章に、最後の晩餐のとき、キリストは「食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰にまとわれた。それから、たらいに水を汲んで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた・・・」とあります。当時、人の足を洗うことは奴隷の仕事でしたが、キリストは弟子たちに行動を以って最後の教えを示しました。「聖隷」の名はこの箇所由来しています。1926 年（大正 15 年）4 月、長谷川保ら 10 人ほどのクリスチャンの若者たちは、奴隷の形をとって弟子たちの足を洗われるキリストの姿をクリスチャンの理想の生き方と考え、自分たちもキリストに倣い、「聖なる神の奴隷」となって世の人々に仕える生き方をしようと社会福祉事業を目的として聖隷社を創立。ここから「聖隷」の歴史が始まりました。

クリストファーとは

「キリストを運ぶもの・担うもの」という意味で、3 世紀半ば頃の半伝説的な殉教者の名前です。世界で最も強い人に仕えたいと願った彼が、王様や悪魔の家来を経て、最後にたどり着いた師がキリストでした。そして、この伝説の最後で彼は少年に姿を変えたキリストをそうとは知らずに背負って川向こうまで運ぶのですが、その少年（キリスト）は世界のすべての罪と苦しみを背負い、誰よりも重かったのです。以後、「クリストファー」はキリスト教の精神を担うことの高貴さを表す名称としてヨーロッパ諸国に広まっていきました。聖隷の創立者・長谷川保は、クリストファーがキリストを背負ったように、病人や障害者、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、大事にケアする人が育ってほしいとの願いから、校名を「聖隷クリストファー」と命名しました。

シンボルマークの由来



外側の二重円は、最後の晩餐でイエス・キリストが弟子たちの足を洗った「たらい」を表現。内側の 3 つの円は、聖隷グループが使命とする医療、福祉、教育を象徴。中央の十字架はキリスト教を示し、聖隷のすべての事業が、キリスト教会の中から始まったことを示しています。故アルバート・アットウェル（アメリカ人、1978～1981 年聖隷学園に奉職）により 1980 年（昭和 55 年）に聖隷のシンボルマークが考案されました。

2 学校法人の沿革

1930 年	ベテルホームに結核患者収容開始
1936 年	浜松市三方原町の県有地7ヘクタール(21,000坪)払下げになる
1939 年	迫害が激しくおこり経営困難極まる 12月天皇陛下より特別御下賜金を受ける
1949 年	各種学校遠州キリスト学園開設
1952 年	聖隷准看護婦養成所開設
1966 年	学校法人聖隷学園設立 聖隷学園高等学校設置
1969 年	聖隷学園浜松衛生短期大学設置
1980 年	聖隷学園浜松衛生短期大学専攻科助産学特別専攻開設
1988 年	聖隷介護福祉専門学校設置
1992 年	聖隷クリストファー看護大学看護学部設置
1998 年	聖隷クリストファー看護大学大学院看護学研究科(修士課程)設置
2001 年	聖隷学園高等学校を「聖隷クリストファー高等学校」に名称変更
2002 年	大学に社会福祉学部を増設し、「聖隷クリストファー大学」に名称変更 短期大学を「聖隷クリストファー大学看護短期大学部」とする
2003 年	聖隷クリストファー高等学校移転改築
2004 年	大学にリハビリテーション学部、大学院に社会福祉学研究科(修士課程)を設置 看護短期大学部看護学科を募集停止し、看護学部を定員増
2006 年	大学院にリハビリテーション科学研究科(修士課程)を設置 高等学校に英数科を設置
2007 年	聖隷クリストファー大学看護短期大学部専攻科助産学特別専攻を廃止し、 大学に助産学専攻科を設置
2008 年	大学院に保健科学研究科(博士後期課程)を設置 大学社会福祉学部にごども教育福祉学科を設置
2009 年	聖隷クリストファー中学校設置
2010 年	大学看護学部にご養護教諭課程開設
2011 年	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園開設 大学社会福祉学部を社会福祉学科、臨床介護福祉学科及びごども教育福祉学科に改編 大学リハビリテーション学部を理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科に改編 大学院を看護学研究科、社会福祉学研究科、リハビリテーション科学研究科の 各博士前期課程・博士後期課程に改編
2013 年	大学社会福祉学部臨床介護福祉学科を、「介護福祉学科」に名称変更 大学院保健科学研究科廃止
2016 年	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校開設

3 設置する学校・学部・学科等（2015年5月1日現在）

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘要
聖隷クリスティア-大学	1992年	看護学部	看護学科	
	2007年	助産学専攻科		
	2002年	社会福祉学部	社会福祉学科	2011年度より3学科に改編 2013年度「臨床介護福祉学科」を 「介護福祉学科」に名称変更
	2008年		こども教育福祉学科	
	2011年		介護福祉学科	
	2004年	リハビリテーション学部	理学療法学科	2011年度より3学科に改編
			作業療法学科	
			言語聴覚学科	
	1998年	大学院看護学研究科 博士前期課程(修士課程)		
	2011年	大学院看護学研究科 博士後期課程		
	2004年	大学院社会福祉学研究科 博士前期課程(修士課程)		
	2011年	大学院社会福祉学研究科 博士後期課程		
2006年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士前期課程(修士課程)			
2011年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士後期課程			
聖隷クリスティア-高等学校	1966年	普通科		1974年衛生看護科から移行
	2006年	英数科		
聖隷クリスティア-中学校	2009年			
聖隷クリスティア-大学附属 クリスティア-こども園	2011年			

2013年度 大学院保健科学研究科廃止、「臨床介護福祉学科」を「介護福祉学科」に名称変更

4 学校・学部・学科等の学生数の状況（2015年5月1日現在）

聖隷クリストファー大学・大学院

（単位：人）

		収容 定員	在 籍 者 数				
			1年	2年	3年	4年	合計
大学院	看護学研究科	35	7	12	23	-	42
	博士前期課程	20	3	7	-	-	10
	博士後期課程(*1)	15	4	5	23	-	32
	社会福祉学研究科	29	5	9	2	-	16
	博士前期課程	20	3	5	-	-	8
	博士後期課程(*1)	9	2	4	2	-	8
	リハビリテーション科学研究科	35	10	14	5	-	29
	博士前期課程	20	8	12	-	-	20
	博士後期課程(*1)	15	2	2	5	-	9
	大学院合計	99	22	35	30	-	87
大学	看護学部	590	160	154	151	166	631
	看護学科	590	160	154	151	166	631
	助産学専攻科	15	17	-	-	-	17
	社会福祉学部	500	82	104	98	92	376
	社会福祉学科	180	31	39	37	44	151
	介護福祉学科(*2)	160	12	17	14	13	56
	こども教育福祉学科	160	39	48	47	35	169
	リハビリテーション学部	340	108	98	91	105	402
	理学療法学科	120	39	42	33	39	153
	作業療法学科	120	35	37	35	34	141
	言語聴覚学科(*3)	100	34	19	23	32	108
	大学合計	1,445	367	356	340	363	1,426
	総合計	1,544	389	391	370	363	1,513

(*1)2011年度開設。

(*2)2015年度まで臨床介護学科の学生を含む。

(*3)2015年度まで言語聴覚学専攻の学生を含む。

聖隷クリストファー高等学校

(単位：人)

	総定員	在籍者数			
		1年	2年	3年	合計
英数科	214	54	57	68	179
普通科	668	216	266	181	663
総合計	882	270	323	249	842

聖隷クリストファー中学校

(単位：人)

	総定員	在籍者数			
		1年	2年	3年	合計
総合計	210	44	60	48	152

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

(単位：人)

	総定員	在籍者数						
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	225	15	15	15	60	60	60	225
1号認定者	135	-	-	-	37	45	42	124
2.3号認定者	90	7	15	16	15	17	15	85
総合計		7	15	16	52	62	57	209

5 役員概要

2016年3月31日現在
定員数 理事13名、監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	長谷川 了	常勤	1980年3月理事就任 1980年4月専務理事就任 1989年4月理事長就任
専務理事	小柳 守弘	常勤	2006年5月理事就任 2006年11月法人事務局長就任 2012年11月専務理事就任(法人事務局長兼任)
理事	小島 操子	常勤	2007年4月聖隷クリストファー大学学長就任 2007年4月理事就任
理事	山下 峰雄	常勤	2010年4月聖隷クリストファー高等学校校長就任 2010年4月理事就任 2012年4月聖隷クリストファー中学校校長就任
理事	山下 香枝子	常勤	2014年4月聖隷クリストファー大学看護学部学長就任 2014年5月理事就任
理事	横尾 恵美子	常勤	2012年4月聖隷クリストファー大学社会福祉学部学長就任 2012年11月理事就任
理事	大城 昌平	常勤	2013年4月聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部学長就任 2013年5月理事就任
理事	太田 雅子	常勤	2011年4月聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園総園長就任 2012年5月理事就任
理事	小川 義文	非常勤	2015年4月理事就任 (東京海上日動火災保険株式会社浜松支店長)
理事	山本 敏博	非常勤	2001年4月理事就任 (聖隷福祉事業団理事長)
理事	荻野 和功	非常勤	2003年4月理事就任 (聖隷三方原病院院長)
理事	鳥居 裕一	非常勤	2012年11月理事就任 (聖隷浜松病院院長)
理事	黒須 篤夫	非常勤	2013年9月理事就任 (東京海上日動サミュエル株式会社 取締役社長)
監事	俵山 初雄	非常勤	2009年4月監事就任 (静岡県西部地域しんきん経済研究所 理事長)
監事	平井 章	非常勤	2011年4月監事就任 (十字の園理事長)

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
	該当なし		

2015年3月31日以降の異動状況

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
[退任]			
理事	安井 啓之	非常勤	2015年3月理事退任
[就任]			
理事	小川 義文	非常勤	2015年4月理事就任

6 評議員の概要

2016年3月31日現在
定員数 27名

氏名	主な現職等
長谷川 了	学校法人聖隷学園 理事長
小柳 守弘	学校法人聖隷学園 専務理事・法人事務局長
小島 操子	聖隷クリストファー大学 学長
山下 峰雄	聖隷クリストファー中・高等学校 校長
大城 昌平	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 学部長
山下 香枝子	聖隷クリストファー大学看護学部 学部長
横尾 恵美子	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 学部長
太田 雅子	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長
小川 義文	東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長
川村 佐和子	聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科 研究科長
寺田 博義	聖隷クリストファー高等学校 教頭
茨城 久一郎	聖隷クリストファー中学校 教頭
山根 之雄	学校法人聖隷学園 法人事務局 財務部長
中村 憲司	聖隷クリストファー大学 総務部長
鈴木 聡	学校法人聖隷学園 法人事務局 企画部長
鈴木 善武	大学同窓会会長：湖山医療福祉グループ
木村 忠雄	大学同窓会副会長：(社)さくま デイサービスセンター
榊原 和美	高等学校 同窓会長：(株)すみれ ケアプランセンターすみれ代表取締役社長
相原 正浩	大学 後援会長：浜松市役所
杉田 吉弘	中・高等学校 P T A 会長：ヤマキチ建設(有)代表取締役社長
平野 芳子	日本基督教団遠州栄光教会 主任牧師
長澤 道子	(社)牧ノ原やまばと学園 理事長
藤島 一郎	浜松市リハビリテーション病院 院長
稲松 義人	(社)小羊学園 理事長
加藤 成久	(社)神戸聖隷福祉事業団 理事
勝原 裕美子	(社)聖隷福祉事業団聖隷浜松病院 副院長兼総看護部長
堀口 路加	学校法人堀口学園 理事長、(社)愛の園福祉会 理事長

7 教職員の概要（2015年5月1日現在）

聖隷クリストファー大学・大学院 教員数

（単位：人）

	専任					兼任	合計
	教授	准教授	講師 助教	助手	計		
看護学部	18	9	25	0	52	49	101
社会福祉学部	15	8	7	0	30	51	81
リハビリテーション学部	12	8	10	0	30	80	110
助産学専攻科	1	1	1	0	3	31	34
合 計	46	26	43	0	115	211	326

聖隷クリストファー高等学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	合計
普通科・英数科	39	39	78

聖隷クリストファー中学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	合計
中学校	11	5	16

クリストファーこども園 教員数(調理員等含む)

（単位：人）

	専任	準職	合計
こども園	15	22	37
合 計	15	22	37

職員数

（単位：人）

	専任	準職	派遣	合計
法 人	15	1	5	21
聖隷クリストファー大学	39	8	4	51
聖隷クリストファー中・高等学校	5	3	0	8
クリストファーこども園	2	8	0	10
合 計	61	20	9	90

2 事業の概要

1 事業の概要

(1) 法人全体

メディカルスクール設置のための設置基準（内規）の策定、調査、具体的推進

国政として国際基準に合わせた医学教育（2023年以降）の改革が掲げられています。この対応としてメディカルスクール（医学系専門職大学院）設置を目指しています。

過去6年制医学部から4年制メディカルスクール（学部卒業）に移行したハーバード大学医学部、デューク大学医学部シンガポール校、オーストラリアディーキン大学・モナシユ大学、マレーシア、韓国（ソウル近郊）、フィリピンにおける医師養成状況事例を資料にまとめ検討材料の基礎としています。

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校開設準備

聖隷クリストファー介護福祉専門学校の2016年4月開設に向けた各種申請や専門学校棟改築などの準備を行いました。超高齢化社会において、介護の質を向上させ豊かな高齢期を実現するためには、介護職員のリーダーの養成とともに、介護福祉士の量的な確保が必要とされています。こうした社会的ニーズに応え、介護福祉現場で即戦力となる知識と技術を備えた介護福祉士を2年間で養成し、社会に送り出していきます。本学社会福祉学部と一体となって介護福祉士の養成に取り組み、大学教員が授業を担当するほか、大学の充実した施設設備を共用します。さらに聖隷福祉事業団や近隣社会福祉法人による奨学金制度を設け、介護福祉士を目指す学生を支援します。

地域における交流と信頼関係づくり

三方原地区における聖隷グループの各施設が共通する課題について話し合い、協調を図っていくことを趣旨として三方原サミットを開催しました。2015年度は聖隷福祉事業団が進行担当法人として、近隣の安全面をテーマに話し合い、危険箇所の情報を共有しました。その結果をもとに、自治体や警察などへ改善に向けた要望書を三方原サミット各施設連名で提出することになりました。

災害時の対応として、大地震発生時は聖隷学園5号館に三方原サミットの災害対策本部が設置されます。災害時の情報共有のため、昨年12月に三方原サミット災害対策本部、三方原サミット各施設合同でトランシーバーによる情報収集訓練を行いました。災害に備え、今後も訓練を定期的実施していきます。

9月には、第6回キリスト教信徒交流会を開催しました。聖隷学園が担当法人となり、「創立（聖隷）の精神を継承していくために」をテーマに実施され、聖隷グループ各法人で働くクリスチャンを中心に約90名以上が参加されました。

(2) 聖隷クリストファー大学

聖隷クリストファー大学の使命は地域に根ざした保健医療福祉の実践であり、また 21 世紀の世界に人材を送り出すことでもあります。そのため地域の保健医療福祉のレベルの向上に大きく貢献すること、保健医療福祉の未来を創るリーダーとなる、質の高い人材育成をすることを目指しています。

2015 年度の事業計画では、8 項目の重点項目および 9 つの重点課題とそれを解決するための基本目標・行動目標を事業計画の骨子に定め、各学部・各分門にて個別行動目標と個別行動計画を策定し実行することにより様々な観点から大学改革を推進してきました。

重点項目

- 1 全学的な教学マネジメントの推進
- 2 内部質保証システムによる教育の充実
- 3 研究の質的・量的な向上と研究成果の公表
- 4 多様で優秀な学生の獲得
- 5 教育技法の革新によるアクティブラーニングの促進
- 6 倫理面を重んじた学生指導・支援の強化・充実
- 7 教育のグローバル化に向けた国際化の展開
- 8 計画的な教員人事の最適化

【全学的な教学マネジメントの推進】【内部質保証システムによる教育の充実】【教育技法の革新によるアクティブラーニングの促進】に関して

各学部において、学部運営会議を中心に学部内の円滑な運営により教育目標を達成できるよう、学生にとって魅力のある教育を実施してきました。具体的には、FD(ファカルティ・ディベロップメント)活動の強化と学生の学習力向上に向けた教務部門と教職員の連携による学修支援を推進しました。その結果、高い国家試験合格率が維持できました。また、2015 年度在学生満足度調査において「個人的に魅力がある、または良い影響を受ける教員がいる」「教員は学生の質問や意見に真剣に応じてくれる」の 2 項目について、それぞれ満足度指数が 44.8、44.2 と高い評価が得られました。これは、64 項目の質問事項の中で上位 3 番目、4 番目に位置しています。

看護学部では、学部長・学部長補佐を柱とし各領域長の連携による学部運営により、学生が確実な学力・実践力を身に付けて 4 年間で卒業できることへの継続的取り組みを行ない、退学者数を減らしました。社会福祉学部では、介護福祉専門学校開設に向けて介護福祉学科と専門学校とが一体となった介護福祉教育を行なう準備を進めました。リハビリテーション学部では、教育技法を革新する観点で、学生一人 1 台の情報端末の導入に向けて、ICT を積極的に活用したアクティブラーニングを推進しました。また、そのための学内の ICT 環境整備を行ないました。大学院各研究科および社会福祉学科においては教育課程の再編を行ないました。

内部質保証システムによる教育の充実を図るため全学的に自己点検評価を行ない、自己点検評価報告書をまとめ、大学基準協会の認証評価の受審に向けて学内の意思統一を図りました。

【研究の質的・量的な向上と研究成果の公表】に関して

競争的研究資金の獲得推進のため、各学部において申請を積極的に呼びかけ、科学研究費公募説明会や採択者による事例説明会等を行ないました。科研費について新規に 15 件の研究テーマが採択されました。また、教員及び大学院・学部生の研究活動における不正行為防止のため、文部科学大臣決定のガイドラインに沿った研究倫理コンプライアンスについて、学内規程の制改定やガイダンス・研修会を実施しました。

【多様で優秀な学生の獲得】に関して

2016年度入試は募集人員を変更しての初めての入試の実施となりました。看護学部 145名 150名、介護福祉学科 40名 25名、理学療法学科 30名 40名。

看護学部とリハビリテーション学部は、入学定員を増やしましたが入学目標数を確保することができました。一方、社会福祉学部では、社会福祉学科、介護福祉学科、こども教育福祉学科の3学科において定員を満たすことができませんでした。各専門職の社会的使命や仕事の魅力を高校生や教師、地域の人に理解してもらえるような広報活動および高校訪問に加え、聖隷グループや近隣の社会福祉法人等の協力を得ながら、施設の職員を対象とした広報活動を展開しましたが、特に介護福祉学科の入学人数が大きく減少しました。このことを全学的に受けとめ、2016年度事業計画においては介護福祉学科の学生募集に関することを重要項目に置き、現状分析のもと対応策を練り次年度の学生募集活動を推進します。

【倫理面を重んじた学生指導・支援の強化・充実】に関して

保健・医療・福祉の専門職者を育成する本学の学生が持つべき倫理観を身に付け、軽率な行動によって犯罪の被害者や加害者にならないよう、倫理面を重んじた学生指導を行いました。特にソーシャルメディアの利用に対しては、事案によっては学生にとって取り返しのつかない状況が生じる可能性があるため情報倫理の指導を強化しました。特に実習前に重点的に指導をしました。

心の問題を抱える学生に対する適切な支援を行うために、アドバイザー教員と学生相談室相談員・カウンセラーとの連携・協力関係を強化しました。本学カウンセラーを講師に迎え、学生相談研修会を開催しました。特に、看護学部においては、2014年度から始まった新しいアドバイザー制度の定着を図り、アドバイザーが学生と信頼関係を築いて学習や生活への支援を図ることができるよう、アドバイザーグループ単位での交流会等を実施しました。

【教育のグローバル化に向けた国際化の展開】に関して

2013年11月に交流協定を締結したアメリカのサミュエルメリット大学(SMU)との交流が2年目を迎えました。看護学部は、6月にSMUからの看護研修生12名(教員3名含む)の受け入れを行い、3月に学生の交流として本学学生12名(教員2名含む)のSMUでの看護研修の実施と教員2名の研究視察派遣を行いました。

中国第三軍医大学とは9月に3回目の交流協定の更新を行い、3月に看護学部教員2名とリハビリテーション学部の教員1名を派遣し、教育・学術交流を継続、発展させました。

交流協定締結からほぼ10年を経たシンガポールのナンヤン理工学院(NYP)との間では、本学から3学部の学生20名を派遣し、NYPから看護学部及びリハビリテーション学部の学生22名を受入れ、活発な相互交流を継続しました。

アジア圏における大学・研究機関との新規交流の開拓については、韓国・カトリックサンジ大学の新規交流について準備を始め、1月にカトリックサンジ大学から総長先生が来学し、今後の交流の在り方について打ち合わせを行い、2016年9月に交流協定を締結する計画で準備をすることになりました。

【計画的な教員人事の最適化】に関して

地域指定校特別奨学生制度が本学の教員採用の一つの方策となるよう検討を進め、今後、本学の教員の柱となれる人材・卒業生を本制度利用者から採用できるよう仕組み作り着手しました。2016年度内には大学院の奨学生制度の設計と制度化を行ない、大学院への進学支援と将来の教員採用を見据えた中長期的な計画を策定します。

(3) 聖隷クリストファー高等学校

聖隷クリストファー高等学校は「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という建学の精神の下、キリスト教の真理と愛に立って国際的視野を持ち、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物の育成を教育目標に掲げています。この建学の精神と教育目標の実現を基本に置き、生徒一人ひとりの個性や適性に応じ能力を引き出す中で進路実現を図り、保護者や地域の方々に信頼される魅力ある学校を目指しています。

入学者数と部活動の活躍

2015年度は4年目となった中期教育計画であるアドヴァンスプランの実現に向けて教職員一丸となって諸活動が展開されました。また、2016年度入試においては、314名という多数の入学者を迎え、英数科2、特進3、進学 類3、進学 類1の9クラス体制となり、一昨年に次ぐ多くの入学者を数え多様な生徒の活躍に期待が寄せられます。入学者数の確保については、近隣の公私立高校の入学定員や、近隣高校の状況の変化のある中で、セミナーハウスの効果的な運用を加えた大学進学実績の向上、入試制度の改善やより通学に便利なスクールバス路線の運用を検討することにより本校への志願者を着実に増加させるべく取り組んでいきます。

また、運動部においては男子バレーボール部のインターハイや春高バレーへの出場、少林寺拳法部の全国大会での活躍、サッカー部・野球部の強化部活や女子ソフトボール部の全国大会を目指した活動やダンス部などの活躍をはじめ、多くの部活動で生徒は日々練習に励み切磋琢磨しています。文化部では放送部の北信越放送コンクールの映像部門への出場、吹奏楽の小編成での県大会出場、書道部では全国書道展で数々の入賞、かるた部中学生の活躍や和太鼓部の地域ボランティアなど多くの部活動で生き生きとした活動が展開されています。

高大連携プログラム

近年、本校の高大連携プログラムが注目され聖隷クリストファー大学を目指すため、このプログラムで学び確かな進路選択をしたいと考えて入学してくる生徒が次第に増えてきました。ここでは、聖隷クリストファー大学の先生による講義の実施等によりいち早く大学での学びに触れることができ、確かな進路実現に繋がっています。毎年1・2年生の医療福祉分野への進学希望者が参加し、多くの生徒が聖隷クリストファー大学への進学を果たしております。このプログラムを通じて、職業として看護、福祉、リハビリテーション関係を選ぶ際の様々な情報を入手し、将来大学で学び大いに社会貢献できる人材となることが期待されています。

(中・高共通) 英語イメージ教育と3ヶ月語学研修

高校の英数科・普通科特進クラスでは、音楽・体育の2教科を英語で学ぶ「英語イメージ教育」を実施しています。その他の普通科クラスでは、英語で異文化理解を進めるイングリッシュチャーターを実施しています。中学でも同様に音楽・体育で英語イメージ教育を実施しています。このプログラムは、英語で音楽と体育の授業を受け、英語に浸ることにより自然に耳を鍛え英会話力の向上につなげていくことをねらいとし、総合的な英語力の向上に寄与しています。授業は、ネイティブスピーカーが英語でのコミュニケーションに重点を置きつつ、教科内容の理解を進めていきます。

また30余年の長きにわたって展開されてきたアメリカとカナダとの姉妹校交流の実績を基にして、近年の入試環境の変化を勘案し本校では希望者に実践的な英語力を本場で養成するため3ヶ月間の海外語学研修を用意し3年目に入りました。これは、アメリカやオーストラリアでホームステイをしつつ語学学校で研修を行うものです。英語を第二言語とする諸国からの学生が集まり、各自の語学レベルに応じたクラスに入り英語を身に付けようとするものです。研修前後の英語力を計るため渡航前後にG-TECのテストを課してその効果をみていますが、研修参加者の結果はめざましいものであり難関大学進学にも繋がるのが期待されます。

(4) 聖隷クリストファー中学校

2016年3月、聖隷クリストファー中学校の第2期生19名が高校を卒業しました。進路先内訳は4年制大学11名(山口大学1、法政大学1、駒澤大学1、聖隷クリストファー大学看護学部2、他大学6) 専門学校7名(内5は看護・医療系)、就職1名でした。中学校草創2期目の生徒たちが、6年間の学びの日々を過ごし、この学園の生徒らしい志を育てて各自の道に歩みだしてくれました。

この生徒たちに続く中学校出身の高校生(内進生)たちからも、中学からの基礎学習の積み重ねによって、上位で健闘する者や、先取り学習の成果を上げる層が育ってきています。今後中学校育ちの生徒たちが、学習面のみならず生徒会や部活などでも活躍し、広く本校の校風作りの中枢を担ってほしいものと思います。

基礎的訓練の重視

中学生は、毎日の生活ぶりが学習の姿勢や成果に直結し、家庭での過ごし方が授業の様子にあらわれます。そこで私たちが最も重視しているのが、課題の提出指導です。毎日書く連絡ノートや、英語や漢字の書き取りノートなど朝の提出物については、生徒の教科委員×担任×教科担当が連携して、全員必ず出させる指導を徹底しています。一人ひとりの生徒の性格・特性に沿って、担任はきめ細かい声かけと見守りを心掛けています。

また携帯電話・パソコンなどについては、「中学生にとって携帯電話の使用は害になることが多い」ということを、生徒・保護者のみなさんに繰り返し呼びかけ、家庭の姿勢＝ルールの設定や見逃さない指導をお願いし協力していただいています。

行事や研修の充実

中学校では授業とは異なる場を設け、学外の方のお力を借りて様々な体験をすることで、若い感受性を育てています。開学以来の行事を含め、2015年度に実施した行事・研修のいくつかを紹介します。

聖隷探検隊 1年生は2名ペアを組んで、聖隷の医療・福祉・教育・宗教等の施設20数か所への訪問を実施。自分たちで施設の概要を調べ、電話で申し込みをし、質問を準備して出かけました。6月開催の聖隷祭でこの体験が発表されます。

楽器博物館での音楽特別授業(1学年) 開学以来浜松市楽器博物館のご協力、ご指導を受け、単に見学にとどまらずインドネシアの伝統楽器ガムランの実習を含む授業を受けています。その事前研修として、インドネシア交流協会からの講師をお迎えし、今日のインドネシアについてのお話を伺いました。

ユニクロ企画の「服のチカラプロジェクト」(2学年) 2014年度から引き続き2回目の参加となりました。ポスターを描き中高の全クラスを回って呼びかけるなど、自分たちの力で子供服の古着1390枚を収集することにより、世界を揺るがす難民の存在について知ることが出来ました。

イングリッシュキャンプ 3年間で最大の行事ニュージーランド研修旅行を、より充実したものにするための準備プログラムが初めて実施できました。ネイティブの英語講師5人をお迎えし、2日間にわたって「英語漬け」の体験を持ちました。緊張しながらも実際役に立つ生きた英語を使ってみることで、ニュージーランド旅行への心構えができました。

また、校内で先輩後輩が交流したり、日頃の学習や経験を発表し合う機会も増え、校内でともに学ぶ雰囲気醸成されています。その例を紹介します。

9月の体育祭で発表する集団演技ソーランの練習のために、夏休み前から縦割りグループが編成され、週に2回はそのグループで昼食をとったあと、3年生2年生が1年生に演技をつけます。150余人の中学校生徒が、全員で演技を作り上げました。学年末の生徒会主催クリーン作戦でも、このグループで学校周辺のごみ拾い活動をし、リレーで競って1年の締めくくりをしました。どんな生徒でも下級生にむける眼差しは優しく、責任感にあふれて頼もしく育っています。

2月末の学習発表会は、日ごろの学習の成果を反映させる内容に改善しました。国語では詩や漢文の朗読、英語の朗読や作文の優秀者の発表、理科ではユニークな主題の自由研究がパワーポイントで発表されました。そしてクラス合唱の素朴で真剣な歌声は、私たち教員だけでなく、保護者も感動させてくれました。

(5) 聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園（以下クリストファーこども園）は、2011年4月に静岡県西部で初めて開園した「幼保連携型認定こども園」です。園の基本理念である「キリスト教主義を基盤に心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」の下、「愛・思いやり・たくましさ・いのち・表現力・自立」を園の目標として、主体性や意欲、他者を思いやる心など豊かな人間性を育てていくとともに、異年齢や多様な人々との関りを通して、人と関わる力が育まれることを目指しています。

基本理念

「キリスト教主義を基盤に、心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」

基本方針

聖隷学園の建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書に示される愛の心をもつことを願っています。創造主（神）から一人ひとりに与えられた尊い<命>が守られながら、生き活きと伸びていき、それぞれの内側にある力が十分に発揮されると同時に、周囲の人々と共に生きることに喜びや楽しみを感じ、人と関る力を身につけることを目指します。

発達や学びの連続性という視点から小学校への接続を意識し、就学前の教育・保育を一体的・総合的に展開します。幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容に沿って「生きる力」の基礎を身につけていくことを目標とします。

保護者や地域住民のために子育て支援を充実させます。皆で子どもの成長を助け喜び合えるように、子どもに関するあらゆる分野の人々が協力し、子育て環境の向上に努めます。

聖隷クリストファー大学附属の園として、大学の教員と協力し、保育の質の向上のために、また乳幼児を取り巻くさまざまな問題の解決のための実践的研究を行います。その成果を公開・発表し、幼児教育・保育業界のモデルとなる保育プログラム作りを目指します。

園目標

- <愛> 神様と周りの人に愛されていることが分かり、自分を大切にする気持ちをもつ。
- <思いやり> 様々な人々との関わりを通して、思いやりの気持ちを育み共に生きる喜びを知る。
- <たくましさ> 自然の中で思いきり遊び、感性やたくましい心と体を育む。
- <いのち> 食に関わる体験を積み、いのちがつながりあい、支えられていることに感謝する。
- <表現力> 自ら様々なことに取り組み、考えたり表現する力を身につける。
- <自立> 生活に必要なことが分かり、自分から身に付けようとする。

保育の特色

自然の中での多様でダイナミックな体験を通して、生き活きとたくましく成長することを目指しています。

大学やその他の専門機関との連携により学問的根拠に裏づけられた、質の高い幼児教育・保育を実践し、子どもの健全な育ちを目指しています。

皆で子どもの成長を助け喜びを共有するという意識に立って、子育て支援の充実、子育て環境の向上に努めています。

2 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 聖隷クリストファー大学

学生募集の推移

(*) 入学定員は2016年度の人数

	入学定員 (*)	2016年度入学		2015年度入学		2014年度入学		
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	
大学院	看護学研究科	15	13	11	9	7	14	12
	博士前期課程	10	6	5	4	3	6	6
	博士後期課程	5	7	6	5	4	8	6
	社会福祉学研究科	13	3	3	5	5	8	8
	博士前期課程	10	1	1	3	3	3	3
	博士後期課程	3	2	2	2	2	5	5
	リハビリテーション科学研究科	15	16	16	11	10	14	14
	博士前期課程	10	10	10	9	8	11	11
	博士後期課程	5	6	6	2	2	3	3
	大学院合計	43	32	30	25	22	36	34
大学	看護学部	150	608	156	611	161	568	156
	看護学科	150	608	156	609	160	566	155
	編入学	-	(募集停止)		2	1	2	1
	助産学専攻科	15	35	17	27	17	35	17
	社会福祉学部	120	156	76	231	85	230	107
	社会福祉学科	40	81	36	92	31	85	39
	編入学	5	3	1	4	3	2	2
	介護福祉学科	25	9	4	40	12	29	18
	編入学	10	0	0	-	-	-	-
	こども教育福祉学科	40	63	35	95	39	114	48
	リハビリテーション学部	95	436	106	529	108	597	99
	理学療法学科	40	227	45	276	39	359	42
	作業療法学科	30	137	34	161	35	176	37
	言語聴覚学科	25	72	27	92	34	62	20
	大学合計	380	1,235	355	1,398	371	1,430	379
総合計	423	1,267	385	1,423	393	1,466	413	

国家試験合格率の推移

看護師・保健師・助産師国家試験の合格率（新卒者）

資格名	所属	2015年度		2014年度		2013年度	
		全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
看護師	大学	97.6%	99.4%	96.9%	96.9%	97.0%	99.3%
保健師	大学	93.9%	93.8%	99.6%	100.0%	88.9%	93.8%
助産師	専攻科	99.8%	100.0%	99.9%	100.0%	97.7%	100.0%

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2015年度		2014年度		2013年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
社会福祉士	47.0%	44.9%	45.4%	40.8%	41.7%	32.4%
精神保健福祉士	74.1%	100.0%	71.8%	80.0%	65.9%	83.3%

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2015年度		2014年度		2013年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
理学療法士	87.0%	97.4%	91.5%	97.1%	93.3%	100.0%
作業療法士	95.0%	100.0%	87.6%	96.7%	96.0%	95.0%
言語聴覚士	86.9%	90.0%	87.0%	68.8%	89.9%	95.0%

卒業生・修了生の進路状況

2015年度 卒業生・修了生の進路状況

看護学部卒業生の内訳

(単位：人)

卒業生数	156	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	143	看護師	135	114	21
		保健師	7	7	0
		養護教諭	1	1	0
進学者数	11				
その他(*1)	2				

(*1)「その他」は就職活動中1名、就職を希望しない者1名です。

< 聖隷関連施設への就職 > 合計99名(就職者の69.2%)
 聖隷三方原病院...33名、聖隷浜松病院...50名、聖隷横浜病院...6名、浜松市リハビリテーション病院...3名
 聖隷沼津病院...1名、聖隷富士病院...2名、聖隷訪問看護ステーション三方原...1名
 聖隷保健事業部...3名

助産学専攻科修了生の内訳

修了生数	17	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	17	助産師	17	11	6

< 聖隷関連施設への就職 > 合計6名(就職者の35.3%)
 聖隷三方原病院...2名、聖隷浜松病院...4名

社会福祉学部社会福祉学科、臨床介護福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	54(社41/介13)	内訳	静岡県内		静岡県外	
			社/介	社/介	社/介	社/介
就職者数	51(社38/介13)	福祉施設(*1)	18/12	13/11	5/1	
		医療機関	13/0	12/0	1/0	
		公務員	3/1	2/1	1/0	
		一般企業	4/0	3/0	1/0	
進学者数	1(社1/介0)					
その他(*2)	2(社2/介0)					

(*1)聖隷福祉事業団への就職者は「福祉施設」に計上しました。

(*2)「その他」は就職活動中1名、就職を希望しない者1名です。

< 聖隷関連施設への就職 > 合計12名(就職者の23.1%)
 聖隷福祉事業団...9名、聖隷沼津病院...1名、小羊学園...1名、十字の園...1名

社会福祉学部こども教育福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	35	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	31	公立幼稚園・保育園	4	4	0
		私立幼稚園	1	0	1
		こども園	5	5	0
		民間保育園	10	7	3
		社会福祉施設	9	8	1
		一般企業	2	1	1
その他(*2)	4				

(*1)聖隷福祉事業団(保育士)への就職者は、こども園2名、民間保育園1名と計上しました。

(*2)「その他」は就職活動中1名、就職しない者3名です。

< 聖隷関連施設への就職 > 合計7名(就職者の21.9%)
 クリストファーこども園...2名、聖隷福祉事業団...4名、聖隷おおぞら療育センター1名、小羊学園...1名

リハビリテーション学部卒業生の内訳

卒業生数	103	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	99	理学療法士	38	28	10
		作業療法士	32	21	11
		言語聴覚士	26	17	9
		その他(*1)	3	3	0
その他(*2)	4				

(*1)「その他」は理学療法助手、介護職員として就職した者です。

(*2)「その他」は就職活動中2名、就職を希望しない者2名です。

< 聖隷関連施設への就職 > 合計16名(就職者の16.3%)
 聖隷福祉事業団...16名

就職支援

2015年度就職支援プログラム

主な就職支援プログラム			
4月	春セメスター進路ガイダンス 【看・助】病院説明会（静岡県・愛知県東部） 【看・助】病院・施設説明会（聖隷関係） 【看】看護師国試対策講座 【社・介・こ】学内就職相談会	10月	公務員試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【PT】【OT】【ST】進路ガイダンス
5月	公務員対策講座説明会 【看】進路ガイダンス 【看】保健師ガイダンス	11月	語彙読解力検定 【看】4年次生による就職活動報告会 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】卒業生による福祉の仕事報告会 【PT・OT】【ST】リハビリテーション国試対策講座
6月	【看】聖隷就職相談所 【PT・OT・ST】進路ガイダンス	12月	【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】SPI 対策模擬テスト 【社・介・こ】4年次生による就職活動報告会 【社・介・こ】就職先研究（天竜厚生会） 【こ】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【こ】4年次生による就職活動報告会 【ST】リハビリテーション国試対策講座
7月	【看】進路ガイダンス 【看】聖隷就職相談所	1月	【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【看】保健師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT】【OT】4年次生による就職活動報告会 【ST】リハビリテーション国試対策講座
8月	公務員試験対策講座 【看】看護師国試対策講座 【看】看護師・保健師共通国試対策講座 【看】保健師国家試験対策講座 【PT・OT・ST】進路ガイダンス 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（静岡近隣県） 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（聖隷関係） 【PT・OT・ST】メイクアップ講座 【PT・OT・ST】スーツ着こなし講座	2月	【看】進路ガイダンス 【看】卒業生と在学生との懇談会 【社・介・こ】履歴書の書き方・面接の受け方講座 【社・介・こ】SPI 対策模擬テスト 【こ】卒業生との懇談会 【ST】専門職者による就職講演会 【ST】就職先研究（聖隷福祉事業団）
9月	公務員試験対策講座 【看】進路ガイダンス 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】進路ガイダンス	3月	論作文対策講座 筆記試験対策講座 【看】就職マナー・面接対策講座 【看】保健師国家試験対策講座 【PT・OT・ST】就職マナー・面接対策講座 【PT】【OT】専門職者による就職講演会 【PT】【OT】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【ST】4年次生による就職活動報告会

随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

【看】：看護学部対象 【助】：助産学専攻科対象

【社】：社会福祉学科対象 【介】：介護福祉学科対象 【こ】：こども教育福祉学科対象

【PT】：理学療法学科対象 【OT】：作業療法学科対象 【ST】：言語聴覚学科対象

2015年度学部別奨学金受給状況

看護学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構			静岡県看護協会	M.H.奨学金	難波千鳥奨学金	TOMI奨学金	合計	
				合計	一種	二種					貸与人数	受給割合
1年次生	0		46	65	28	37	4			0	115	71.8%
2年次生	2	1	46	64	24	40	0			0	113	73.4%
3年次生	2	0	70	71	31	40	0	1	1	0	145	96.0%
4年次生	2	1	92	61	23	38	0	1	0	0	157	98.1%
合計	6	2	254	261	106	155	4	2	1	0	530	84.7%

助産学専攻科

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	聖隷奨学会	日本学生支援機構			静岡県看護職特別	静岡県看護協会	合計		前年度受給割合
			合計	一種	二種			貸与人数	受給割合	
1年次生	0	4	1	1	0	0	5	29.4%	82.4%	

社会福祉学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構			静岡県介護福祉士	浜松市奨学金	難波千鳥奨学金	あしなが育英会	TOMI奨学金	廣田育英会	ニッセイ聖隷健康福祉財団	合計	
				合計	一種	二種								貸与人数	受給割合
1年次生	1		1	31	11	20	5	0		0	0	0	0	38	46.3%
2年次生	0	0	2	40	16	24	1	1		0	0	0	0	44	42.7%
3年次生	1	0	1	35	8	27	0	0	0	0	0	0	0	37	38.1%
4年次生	1	0	1	26	4	22	0	0	1	1	0	1	0	31	34.8%
合計	3	0	5	132	39	93	6	1	1	1	0	1	0	150	40.4%

リハビリテーション学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構			浜松市奨学金	TOMI奨学金	合計	
				合計	一種	二種			貸与人数	受給割合
1年次生	1		3	41	13	28	0	0	45	41.7%
2年次生	0	1	2	38	13	25	0	0	41	41.8%
3年次生	1	1	3	47	12	35	0	0	52	57.1%
4年次生	1	0	0	36	12	24	3	0	40	38.1%
合計	3	2	8	162	50	112	3	0	178	44.3%

大学院博士前期課程

学年	日本学生支援機構			静岡県看護職員修学資金	合計	
	合計	一種	二種		貸与人数	受給割合
1年次生	3	1	2	0	3	21.4%
2年次生	2	2	0	2	4	17.4%
合計	5	3	2	2	7	18.9%

大学院博士後期課程

学年	日本学生支援機構			合計	
	合計	一種	二種	貸与人数	受給割合
1年次生	0	0	0	0	0%
2年次生	1	1	0	1	11.1%
3年次生	1	1	0	1	3.7%
合計	2	2	0	2	4.5%

受給割合は、学生数に対する受給者の延べ人数の割合を示す
 前年度受給割合は、2014年12月1日時点データ
 当年度・前年度ともに聖隷病院就職内定者の奨学金受給者を含む

国際交流

2015年度の本学の交流協定締結校は、サミュエルメリット大学（米国）、ナンヤン理工学院（シンガポール）、第三軍医大学（中国）の3校となっています。第三軍医大学とは5年ごと（2015年9月～2020年9月）の大学間交流協定更新の調印式を行いました。また、アジア圏における新たな交流協定締結校を開拓すべく、8月にカトリックサンジ大学（韓国）へ本学社会福祉学部長を中心とする訪問団を派遣し、1月にカトリックサンジ大学総長を中心とする訪問団を受入れました。2016年度の大学間交流協定締結に向けて準備を進めることを相互で確認しました。

2015年度は、学生主体の国際交流として下記の派遣・受入プログラムを実施しました。下記の学生派遣プログラムのうち「シンガポール研修」、「アメリカ看護研修」については、独立行政法人日本学生支援機構平成27年度留学生交流支援制度に採択され、それぞれ15名、6名の学生に奨学金が支給されました。

また、研究者派遣についてはサミュエルメリット大学へ看護学部教員2名、第三軍医大学へ看護学部教員2名、リハビリテーション学部教員1名の計3名を派遣し、外国人研究者の受入れについては、ナンヤン理工学院より看護学部教員1名を受入れました。

【学生派遣】

	プログラム	期間	対象	受入機関	参加人数
研修	シンガポール研修	9日間	全学部・全学年	ナンヤン理工学院 （シンガポール）	20名 教職員2名
	アメリカ看護研修	11日間	看護学部2・3年次生	サミュエルメリット大学 （米国）	10名 教員2名
	アメリカ言語聴覚学研修	9日間	リハビリテーション学部 言語聴覚学科生	ハワイ大学マノア校 （米国）	12名 教員2名
	海外英語研修（個人参加）	3週間	全学部・全学年	ハワイ大学マノア校 English Language Institute （米国）	4名
2週間		ボンド大学 English Language Institute （オーストラリア）		2名	
実習	国際看護実習	2週間	看護学部4年次生	ナンヤン理工学院 （シンガポール）	2名 教員1名
	国際福祉実習	15日間	社会福祉学部 2年～4年次生	インド聖隷希望の家 （インド）	4名 教員1名
	国際作業療法実習	3週間	リハビリテーション学部 言語聴覚学科生	ナンヤン理工学院 （シンガポール）	1名 教員1名

【学生受入れ】

プログラム		期間	対象	研修・実習先	参加人数
研修	Samuel Merritt University Study Visit	9日間	サミュエルメリット大学看護学部生	聖隷三方原病院、聖隷おおぞら療育センター、聖隷ホスピス、和合せいれいの里、訪問看護ステーション住吉、訪問看護ステーション三方原、聖隷デイサービスセンター三方原、十字の園、アドナイ館	9名 教員3名
	Nanyang Polytechnic Study Visit in June	7日間	ナンヤン理工学院看護学科、理学療法学科、作業療法学科生	十字の園、ゆうゆうの里、根洗学園、聖隷三方原病院、聖隷おおぞら療育センター、聖隷ホスピス、浜松市リハビリテーション病院、聖隷デイサービスセンター三方原、ワークセンター大きな木	20名 教員2名
	Texas A&M International University Study Visit	2日間	Texas A&M International University 言語聴覚学科生	聖隷三方原病院、聖隷おおぞら療育センター	11名 教員2名
	Nanyang Polytechnic Study Visit in March	7日間	ナンヤン理工学院看護学科、理学療法学科、作業療法学科生	十字の園、ゆうゆうの里、根洗学園、聖隷三方原病院、聖隷おおぞら療育センター、聖隷ホスピス、浜松市リハビリテーション病院、聖隷デイサービスセンター三方原、ワークセンター大きな木	22名 教員2名
実習	Nanyang Polytechnic Nursing Overseas Clinical Attachment Program	4週間	ナンヤン理工学院看護学科生	聖隷三方原病院、浜名湖エデンの園、聖隷浜松病院	2名
	Nanyang Polytechnic OT Overseas Clinical Attachment Program	2週間	ナンヤン理工学院作業療法学科生	聖隷三方原病院、みをつくしデイサービスセンター、ワークセンター大きな木	2名

(2) 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

第1期生 学生募集状況

	入学定員	2016年度入学	
		志願者	入学者
介護福祉専門学校	40	25	22

(3) 聖隷クリストファー高等学校

生徒募集の推移

高校

(単位:人)

	入学定員	2016年度入学者 (2015年度募集)		2015年度入学者 (2014年度募集)		2014年度入学者 (2013年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
普通科・英数科	294	1,341	314	1,151	270	1,332	325

中学校からの内進生を含みます。

卒業生の進路状況

高校卒業生の内訳

(単位:人)

	大学	短期大学	専門学校	受験準備	就職	留学	未定	合計
男子	62	1	14	5	6	2	2	92
女子	90	9	46	2	5	0	3	155
合計	152	10	60	7	11	2	5	247
比率	61.5%	4.0%	24.3%	2.8%	4.5%	0.8%	2.0%	100.0%

《国公立大学 24名》北海道大1名、浜松医大(看護)2名、静岡大4名、北見工業大1名、群馬大1名、三重大1名、鳥取大1名、山口大1名、高知大1名、静岡県立大1名、静岡文化芸術大2名、釧路公立大3名、都留文科大2名、山梨県立大1名、尾道市立大1名、名桜大1名

《私立大学 307名》国際基督教大1名、早稲田大1名、明治大1名、中央大3名、法政大2名、立命館1名、日本大4名、駒澤大8名、専修大2名、大東文化大2、東海大3名、亜細亜大1名、国土館大7名、明治学院大3名、南山大2名、東京農業大2名、北里大1名、愛知大4名、中京大1名、名城大8名、他

就職実績

《就職内定者 11名》スズキ3名、朝日電装1名、アスモ1名、遠州鉄道1名、三和製作所1名、聖隷三方原病院1名、ティケイビジネスフォーム1名 他

就職には、縁故就職(男1)も含みます。

国際交流

高校	派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
	本校から姉妹校への派遣	なし	なし
	本校から私費留学	なし	なし
	本校から語学研修	アメリカへ2名	
その他の団体		2014年9月～2014年10月(2週間) オーストラリアから1名	2014年9月～2015年6月 アメリカから1名(姉妹校) オランダから1名 フィンランドから1名 2015年9月～ アメリカから1名

部活動の主な実績

高校・中学	
部活動名	2015年度 主な実績
男子バレーボール部	静岡県高校総体西部予選 3位 静岡県高校総体 優勝 第60回東海高校総体 3位 平成26年度全国高等学校総体出場 全日本選手権 兼 全国選抜優勝大会静岡県予選 優勝 第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会出場 新人戦 兼 静岡県選手権大会 ベスト8
男子サッカー部	静岡県高校総体ベスト16 全日本高等選手権大会 決勝トーナメント ベスト32 スルガカップBリーグ所属
野 球	第97回全国高校野球選手権記念静岡大会 ベスト16 第67回秋季東海地区高等学校野球静岡県西部地区大会 敗者復活4回戦 第63回春季東海地区高等学校野球西部地区大会 5位 県大会進出
女子ソフトボール部	静岡県高校総体 初戦敗退 静岡県選手権大会 ベスト8 静岡県私学大会 ベスト4 第25回中部日本私立高等学校選抜大会 上位トーナメント進出 新人戦西部大会 3位
少林寺拳法部	静岡県高等学校総合体育大会 男子総合優勝、女子総合優勝 (団体演武)男子1位、女子1位、(組演武)男子1位、女子1位、 (単独演武)男子1位・2位、女子1位・2位 第9回静岡県中学校少林寺拳法大会 (単独演武)男子1位・2位・3位、女子1位・2位・3位 (組演武)男子1位・2位、女子1位・2位・3位 (団体演武)男子1位、女子1位 第9回全国中学校大会 (団体演武)男子6位、女子4位 静岡県高等学校新人体育大会 男子・女子 総合優勝 第19回高校生少林寺拳法全国選抜大会 (自由団体演武)女子6位、(規定単独演武)1位 (団体演武)女子2位
吹奏楽部	第58回中部日本吹奏楽コンクール静岡県大会小編成の部 銀賞 第56回全日本高等学校吹奏楽コンクール西部大会(B編成) 金賞 第56回全日本高等学校吹奏楽コンクール静岡県大会(B編成) 銀賞 第49回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト 打楽器三重奏 銀賞、金管八重奏 銅賞 トロンボーン・チューバ四重奏 銅賞 第17回中部日本重奏コンテスト サックス四重奏 銅賞、フルート・オーボエ三重奏 銀賞 第17回中部日本個人コンテスト県大会 ソロトランペット 赤嶺 銅賞 ソロバスクラリネット 外村 金賞 ソロホルン 伊東 銅賞 第28回中部日本コンテスト個人本大会 バスクラリネット 外村 銀賞 第32回SHOBI高校生ソロコンテスト 外村 優秀賞
放 送 部	第62回NHK杯高校放送コンテスト西部地区大会 創作ラジオドラマ部門 佳作 アナウンス部門 杉浦光 優勝 渡邊幹夫 入選 朗読部門 嶋田友里子 佳作 吉田穂乃 佳作 第62回NHK杯高校放送コンテスト県大会 創作ラジオドラマ部門 佳作 テレビドキュメント部門 8位 第36回静岡県高校放送新人コンクール ビデオメッセージ部門 佳作 アナウンス部門 渡邊幹夫 入選 朗読部門 小松大祐 入賞 小松あやな 佳作 第12回北信越選抜放送富山大会 ビデオメッセージ部門 優良賞
か る た	第16回静岡県小中学生かるた大会 中学生ペアの部 3位
書 道	第31回ふれあい書道展 筆都大賞 1名、特選 3名、奨励賞 11名、敢闘賞 1名 日本書道専門学校主催第37回千字文大会 高校漢字半紙の部 特選 2名、優秀 1名、秀作 3名、佳作 4名、 漢字条幅の部 特選 1名、優秀 1名 中学漢字半紙の部 優秀 1名 第34回富士山学生書写書道展 審査委員長賞 1名、審査委員会賞 1名、奨励賞 1名 第57回大東文化大学全国書道展 条幅の部 金賞 1名 半紙の部 特選 2名、金賞 4名、銀賞 9名、銅賞 3名

(4) 聖隷クリストファー中学校

生徒募集の推移

中学

	入学定員	2016年度入学者 (2015年度募集)		2015年度入学者 (2014年度募集)		2014年度入学者 (2013年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
中学校	70	75	50	63	44	79	60

国際交流

中学		
派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校から姉妹校への派遣	なし	なし
姉妹校から本校への受入	なし	なし
(財)IY・I7・I7日本協会からの受入	なし	なし

(5) 聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園
年間行事

日付	内容
4月 1日(水)	保育開始
7日(火)	1学期始園日
11日(土)	入園式(48名入園)
17日(金)	イースター礼拝
21日(火) 22日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験
25日(土)	理事長講話、こども園保護者会総会、クラス懇談会
5月 13日(水)	母の日礼拝
18日(月)	園児健康診断
19日(火) 20日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験
26日(火) 27日(水)	園外保育(4歳児) フラワーパーク
28日(木)	園外保育 ジョンガミツカ氏 コンサート(5歳児)
6月 3日(水) 4日(木)	オープン保育デー(5歳児)
9日(火) 10日(木)	オープン保育デー(4歳児)
15日(月)	園児歯科検診
16日(火) 17日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験
18日(木)	花の日礼拝、施設訪問
24日(水) 25日(木)	オープン保育デー(3歳児)
29日(月)	プール開き
7月 14日(火) 15日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験
17日(金)	1学期終園日
18日(土)	サマーフェスタ
24日(金) 25日(土)	5歳児お泊り保育(アクティ森)
29日(水)	小学1年生 同窓会
8月 27日(木) 28日(金)	園外保育(5歳児) 里山体験
31日(月)	プール納め
9月 1日(火)	2学期始園日、防災引渡訓練
4日(金)	交通安全教室(4.5歳児)
10月 5日(月)	園児健康診断
6日(火)	アフリカ幼児教育者見学受け入れ
10日(土)	プレイデー(運動会、3.4.5歳児) 於:中高ソフトボール場

日付	内容
10月 20日(火) 21日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験
22日(木)	歯磨き指導教室(5歳児)
27日(火)	園外保育(3-5歳児) 浜松市動物園
31日(土)	プレイデー(運動会、0.1.2歳児) 於:園庭
11月 7日(土)	幼児祝福式(3.5歳児希望者)
11日(水)	収穫感謝礼拝
12日(木)	収穫感謝訪問(浜名湖工芸園、アトリエ他訪問) アジア学院との交流(5歳児)
13日(金)	野外パーティー
16日(月) 19日(木)	園児視力検査(4歳児)
12月 4日(金)	保護者会クリスマス
12日(土)	クリスマスのつどい(4.5歳児)
16日(水)	クリスマスパーティー
18日(金)	2学期終園日
19日(土)	クリスマスのつどい(0.1.2.3歳児)
1月 6日(水)	3学期始園日
13日(水) 15日(金)	園外保育(5歳児) 里山体験
23日(土)	親子運動遊び(きのいい羊)
26日(火) 27日(水)	オープン保育デー(5歳児)
28日(木) 29日(金)	オープン保育デー(4歳児)
2月 4日(木) 5日(金)	オープン保育デー(3歳児)
9日(火)	オープン保育デー(満3歳児)
10日(水)	体力測定(5歳児)(大学 和久田先生)
18日(木)	人形劇公演 むすび座
27日(土)	クラス懇談会、保護者会役員会
3月 4日(水)	卒園遠足(5歳児) 豊橋市:のんほいパーク
11日(金)	年長お別れ会、お別れパーティー
14日(月)	園外保育(4歳児) 浜松こども館
16日(水)	園外保育(4歳児) 里山
17日(木)	卒園礼拝
18日(金)	3学期終園日
19日(土)	卒園式(57名卒園)
25日(金)	卒園記念植樹式

3 施設等の状況（2016年3月31日現在）

（1）現有施設の状況

土地

所在地	面積等	取得価額	摘要
静岡県浜松市北区三方原町3453	41,813 m ²	434,456 千円	聖隷クリストファー大学キャンパス
	70,269 m ²	2,137,418 千円	聖隷クリストファー中高キャンパス
静岡県浜松市北区三方原町2762	4,290 m ²	70,945 千円	クリストファーこども園(園舎・園庭)
合計	116,372 m ²	2,642,820 千円	

校舎等

所在地	施設等(建物名称)	面積等	取得価額	帳簿価額
静岡県浜松市北区三方原町3453	聖隷クリストファー大学(1号館)	9,068 m ²	2,319,432 千円	1,063,774 千円
	" (2号館)	4,026 m ²	693,808 千円	413,522 千円
	" (3号館)	4,727 m ²	887,681 千円	569,530 千円
	" (4号館)	1,199 m ²	194,074 千円	73,737 千円
	" (旧5号館旧棟)	2,623 m ²	305,909 千円	92,770 千円
	" (5号館)	5,134 m ²	948,396 千円	866,506 千円
	" (6号館)	574 m ²	159,362 千円	122,216 千円
	" (機械室)	11 m ²	1,124 千円	431 千円
	" (学生・同窓会館)	964 m ²	155,433 千円	60,375 千円
	" (キリスト教センター)	78 m ²	19,749 千円	10,081 千円
	" (第一体育館)	781 m ²	237,883 千円	132,605 千円
	" (第二体育館)	495 m ²	46,702 千円	20,458 千円
	" (第一テニスクラブハウス)	35 m ²	10,754 千円	1,959 千円
聖隷クリストファー大学 合計		29,715 m ²	5,980,306 千円	3,427,964 千円
静岡県浜松市北区三方原町3453	聖隷クリストファー中・高等学校(校舎)	8,706 m ²	1,408,413 千円	907,320 千円
	" (体育館)	4,369 m ²	764,276 千円	523,009 千円
	" (総合運動場クラブハウス)	176 m ²	33,662 千円	18,946 千円
	" (第二テニスクラブハウス)	106 m ²	17,379 千円	11,431 千円
	" (サッカー場クラブハウス)	193 m ²	36,003 千円	15,020 千円
	" (野球部部室)	62 m ²	20,855 千円	11,594 千円
	" (ガス整圧室、ホップ室)	15 m ²	29,800 千円	12,194 千円
	" (ソフトボール場倉庫)	65 m ²	1,400 千円	770 千円
聖隷クリストファー中・高等学校 合計		13,692 m ²	2,311,787 千円	1,500,284 千円
静岡県浜松市北区三方原町2762	こども園園舎	2,139 m ²	501,865 千円	429,015 千円
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 合計		2,139 m ²	501,865 千円	429,015 千円
総合計		45,546 m ²	8,793,957 千円	5,357,263 千円

（2）主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

専門学校棟(6号館)改修工事を行いました。

4 その他

特に記載すべき事項はありません。

3 財務の概要

1 決算の概要

(1) 貸借対照表の状況

貸借対照表は資産（土地や建物など）が何によってどのようなバランスで賄われているかを表し、財務の健全性を示したものです。

校舎建設、土地購入などによる借入金のための負債の割合が高いですが、総資産の67.6%は自己資金で賄われていることにより、財務の安定性は十分な余力があることがわかります。

また、借入金は現状のキャッシュフローにおいて最短3年5ヶ月での全額返済が可能であり、十分な返済能力を備えていると認識しております。

資産の部合計	13,851	負債の部合計	4,478	
(主な内容)		(主な内容)		
	(現金預金	4,329)	(借入金	2,101)
	(土地	2,643)	(前受金	1,514)
	(建物	5,357)		
		自己資金	9,373	
【有利子負債返済可能年数】				
借入金	2,101 百万円			
学校運営にかかる キャッシュフロー	617 百万円			
$\frac{2,101}{617} = 3.40$ 年				

(2) 収支計算書の状況

資金収支計算書、活動区分資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の資金の出入りを表す財務諸表で、一般企業のキャッシュフロー計算書に類するものです。2015年度から学校法人会計基準の改正に伴い、新たに活動区分ごとの資金の流れがわかる「活動区分資金収支計算書」の作成が義務付けられました。

下記は活動区分ごとの示した表となっております。

2015年度は教育研究活動により発生した資金は6億3500万円でした。施設・設備投資には専門学校棟改修工事を含め2億2400万円を充当しました。

これら法人全体の事業活動により、前年度より資金が2億8100万円増加しました。現状、経営実績は安定して推移しているといえます。

教育研究活動による資金収支	635
施設等整備活動による資金収支	181
その他の活動による資金収支	173
支払資金増加額(+ +)	281
前年度繰越支払資金	4,048
翌年度繰越支払資金	4,329

活動区分資金収支計算書

(単位：円)

		科 目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,602,778,175
		手数料収入	57,250,240
		特別寄付金収入	44,426,363
		一般寄付金収入	4,480,655
		經常費等補助金収入	737,951,754
		付随事業収入	18,597,827
		雑収入	139,129,784
		教育活動資金収入計	3,604,614,798
	支出	人件費支出	2,260,817,418
		教育研究経費支出	478,404,203
		管理経費支出	237,356,287
		教育活動資金支出計	2,976,577,908
		差引	628,036,890
		調整勘定等	7,782,870
	教育活動資金収支差額	635,819,760	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金額
	収入	施設設備寄付金収入	907,928
		施設設備売却収入	540,000
		施設整備等活動資金収入計	1,447,928
	支出	施設関係支出	152,896,973
		設備関係支出	71,846,338
		施設整備等活動資金支出計	224,743,311
		差引	223,295,383
		調整勘定等	42,056,348
	施設整備等活動資金収支差額	181,239,035	
小計(教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)			454,580,725

(単位：円)

科 目		金額
その他の活動による資金収支	立替金回収収入	3,651,826
	奨学貸付金回収収入	13,310,100
	小計	16,961,926
	受取利息・配当金収入	1,633,207
	その他の活動資金収入計	18,595,133
	借入金等返済支出	144,860,000
	預り金支払支出	4,260,804
	預託金支出	56,970
	奨学貸付金支払支出	9,740,000
	小計	158,917,774
	借入金等利息支出	32,540,111
	過年度修正支出	1,224,720
	その他の活動資金支出計	192,682,605
	差引	174,087,472
	調整勘定等	856,510
	その他の活動資金収支差額	173,230,962
	支払資金の増減額（小計 + その他の活動資金収支差額）	
前年度繰越支払資金		4,048,149,713
翌年度繰越支払資金		4,329,499,476

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は学校運営の収入と支出の内容を表したもので、一般企業の損益計算書に類するものです。

事業活動収支差額は2億4100万円のプラスとなりました。この収支差額は2015年度第一次補正額よりも1億4900万円改善しています。

(単位:千円)

科 目		法人	大学	高校	中学	こども園	合計
事業活動収入	学生生徒等納付金	0	2,112,792	370,172	69,754	50,061	2,602,779
	手数料(入学検定料含む)	500	36,156	19,454	1,140	0	57,250
	寄付金	0	9,589	33,159	6,159	0	48,907
	補助金	0	246,047	294,355	50,885	146,665	737,952
	付随事業・雑収入等	1,200	74,230	52,902	16,103	13,298	157,733
	教育活動外収入(受取利息等)	3	1,124	351	65	90	1,633
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)	0	7,356	2,521	45	200	10,122
合 計		1,703	2,487,294	772,914	144,151	210,314	3,616,376
事業活動支出	人件費	54,314	1,516,106	458,302	105,665	130,158	2,264,545
	教育研究経費	0	524,494	187,109	19,990	50,235	781,828
	(うち減価償却額)	0	185,193	91,601	2,773	23,856	303,423
	管理経費	76,146	106,890	57,057	18,252	8,379	266,724
	(うち減価償却額)	13,815	4,162	687	94	692	19,450
	教育活動外支出(借入金利息等)	0	7,896	24,644	0	0	32,540
	特別支出(資産処分差額等)	1,370	26,374	775	104	426	29,049
合 計		131,830	2,181,760	727,887	144,011	189,198	3,374,686
事業活動収支差額		130,127	305,534	45,027	140	21,116	241,690

2 経年比較

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末
固定資産	9,230,390	10,073,933	9,737,756	9,527,116	9,417,957
流動資産	3,110,013	3,453,141	3,739,874	4,216,659	4,432,592
資産の部合計	12,340,403	13,527,074	13,477,631	13,743,776	13,850,549
固定負債	2,143,534	2,831,708	2,764,380	2,645,394	2,528,693
流動負債	1,810,452	2,049,111	1,910,957	1,967,774	1,949,559
負債の部合計	3,953,987	4,880,820	4,675,338	4,613,169	4,478,252
基本金	12,256,260	12,553,168	12,665,510	12,899,888	13,205,058
繰越収支差額	3,869,844	3,906,914	3,863,217	3,769,281	3,832,761
純資産の部合計	8,386,415	8,646,254	8,802,292	9,130,607	9,372,297
負債及び純資産の部合計	12,340,403	13,527,074	13,477,631	13,743,776	13,850,549

(2) 収支計算書
資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
学生生徒等納付金収入	2,493,603	2,479,494	2,537,823	2,625,497	2,602,778
手数料収入	62,088	65,500	63,143	56,088	57,250
寄付金収入	30,857	35,544	56,852	63,188	49,815
補助金収入	730,547	726,389	728,665	741,375	737,952
資産売却収入	60	20	150	400	540
付随事業・収益事業収入	4,698	1,394	2,752	1,587	18,598
受取利息・配当金収入	3,665	1,153	1,182	1,819	1,633
雑収入	69,447	128,618	98,385	147,534	139,130
借入金等収入	0	786,000	0	0	0
前受金収入	1,447,421	1,432,629	1,541,465	1,514,396	1,513,973
その他の収入	342,380	92,386	115,944	112,307	150,638
資金収入調整勘定	1,559,925	1,550,566	1,516,114	1,675,172	1,593,852
前年度繰越支払資金	2,481,943	3,015,124	3,319,442	3,621,059	4,048,150
収入の部合計	6,106,790	7,213,689	6,949,691	7,210,083	7,726,605

支出の部	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
人件費支出	2,107,451	2,138,095	2,103,824	2,234,222	2,260,817
教育研究経費支出	476,775	441,970	469,378	455,548	478,404
管理経費支出	186,956	199,424	196,366	228,736	238,581
借入金等利息支出	42,949	40,013	37,608	34,893	32,540
借入金等返済支出	124,090	125,120	126,150	116,150	144,860
施設関係支出	71,453	982,794	38,084	60,298	152,897
設備関係支出	56,240	191,617	127,311	59,648	71,847
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	160,617	190,601	425,525	188,559	225,536
資金支出調整勘定	134,868	415,387	195,614	216,124	208,376
翌年度繰越支払資金	3,015,124	3,319,442	3,621,059	4,048,149	4,329,499
支出の部合計	6,106,790	7,213,689	6,949,691	7,210,083	7,726,605

2014年度以前については、新会計基準に基づき組み替えて表記しています

事業活動収支計算書

(単位:千円)

科目		年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
事業活動収入	学生生徒等納付金		2,493,603	2,479,495	2,537,823	2,625,497	2,602,778
	手数料		62,089	65,500	63,144	56,089	57,250
	寄付金		39,009	41,564	60,308	69,135	48,907
	経常費等補助金		730,548	726,389	728,665	741,375	737,952
	付随事業収入		4,699	1,395	2,753	1,587	18,598
	雑収入		70,100	128,618	98,391	147,535	139,136
	教育活動外収入(受取利息等)		3,667	1,153	1,182	1,820	1,633
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)						9,582
	その他特別収入		60	21	150	400	540
合計			3,403,774	3,444,135	3,492,415	3,643,438	3,616,376
科目		年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
事業活動支出	人件費		2,138,292	2,165,886	2,128,329	2,262,894	2,264,545
	教育研究経費		780,358	740,902	772,630	746,666	781,828
	管理経費		215,995	229,590	234,076	270,670	266,724
	教育活動外支出(借入金利息等)		42,950	40,013	37,609	34,894	32,540
	特別支出(資産処分差額等)		101,361	7,983	163,733	0	6,278
	その他特別支出		0	0	0	0	22,771
合計			3,278,955	3,184,374	3,336,377	3,315,124	3,374,686
基本金組入前当年度収支差額			124,819	259,761	156,038	328,314	241,690
基本金組入額合計			258,967	296,908	112,341	234,379	305,170
当年度収支差額			134,148	37,147	43,697	93,936	63,480
前年度繰越収支差額			3,939,659	3,869,767	3,906,914	3,863,217	3,769,281
基本金取崩額			204,040	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額			3,869,767	3,906,914	3,863,217	3,769,281	3,832,761
事業活動収支差額			124,819	259,761	156,038	328,314	241,690

2014年度以前については、新会計基準に基づき組み替えて表記しています

3 主な財務比率比較

< 学校法人全体の主要財務指標の内容 >

ここでは主に下記の指標を用いて 2015 年度決算における経営状況および改善傾向を把握することができます。2015 年度からは学校法人会計基準改正に伴い、財務比率も変更となっています。

$$\text{収容定員充足率} = \text{学生現員} \div \text{収容定員}$$

定員に対する学生数の割合を示したものです。100%であることが理想です。

$$\text{事業活動収支差額比率} = \text{基本金組入前当年度収支差額} \div \text{事業活動収入}$$

支出に対して収入が上回っている割合により、経営の健全性を示すものです。

0%以上(プラスであること)が最低条件です。

2014 年度以前は「帰属収支差額比率」からの組み替えて表示してあります。

$$\text{流動比率} = \text{流動資産} \div \text{流動負債}$$

短期的な資金繰りの余裕度合を表したもので、150～200%が理想的です。

$$\text{運用資産余裕比率} = (\text{運用資産}^*1 - \text{外部負債}^*2) \div \text{事業活動支出} \dots \text{法人全体のみ}$$

*1 運用資産 = その他固定資産 + 流動資産 *2 外部負債 = 総負債 - 退職給与引当金 - 前受金

実質的な運用資産を年間の支出に対してどれだけ保有しているかを示すものです。

法人全体

2015 年度は学生・生徒・園児数が 22 名減少し、収容定員充足率は 94.9%となりました。事業活動収支差額比率は 6.7%、流動比率は 227.4%、運用資産余裕比率は 0.57 年となっております。

2015 年度決算(法人全体)



各学校の主要財務指標の内容

学校別の財務内容については下記指標を用いて算出しました。

収容定員充足率 = 学生(生徒・園児)現員 ÷ 収容定員

事業活動収支差額比率 = 基本金組入前当年度収支差額 ÷ 事業活動収入

2014年度以前は「帰属収支差額比率」からの組み替えて表示してあります。

人件費比率 = 人件費 ÷ 経常収入

経常収入に対する教職員の人件費の割合を表したものです。

2014年度以前は「人件費 ÷ 帰属収入」で算出した比率となっています。

教育研究経費比率 = 教育研究経費 ÷ 経常収入

収入に対する教育研究経費の割合を表したものです。

2014年度以前は「教育研究経費 ÷ 帰属収入」で算出した比率となっています。

聖隷クリストファー大学

2015年度決算（大学全体）



聖隷クリストファー中・高等学校

2015年度決算（中・高等学校）



聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

2015年度決算（こども園）



4 その他

(1) 借入金の状況

(単位:円)

借入先	期末残高	摘要
		使 途
日本私立学校振興・共済事業団	833,800,000	大学5号館建築、運動場用地、労作用地
遠州信用金庫中川支店	395,000,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
りそな銀行浜松支店	165,820,000	高校校舎建築、大学2号館建築
浜松信用金庫三方原支店	452,590,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
静岡銀行浜松営業部	398,500,000	大学2号館建築、高校校舎建築 大学3号館建築
合 計	2,245,710,000	

(2) 寄付金の状況

(単位:円)

区分	氏 名	金 額	用途・品目等
一般寄付金	個人(3名)	1,210,000	
	聖隷クリストファー-中・高等学校PTA様	2,928,489	
	聖隷クリストファー-中・高等学校学年会計	342,166	
	合 計	4,480,655	
特別寄付金	個人(109名)	1,621,328	図書購入資金、部活動支援
	聖隷クリストファー-大学同窓会様	100,000	図書購入資金
	聖隷クリストファー-大学後援会様	8,389,295	学生食堂光熱水費、大学売店光熱水費 他
	聖隷クリストファー-中・高等学校後援会様	34,337,264	スクールバス経費、部活動支援費 他
	聖隷クリストファー-中・高等学校PTA様	786,404	学生用コピー用紙補助、カフェテリア経費
	聖隷クリストファー-高等学校サッカー部父母の会様	100,000	サッカー場芝刈り機購入費
	合 計	45,334,291	
現物寄付金	個人(27名)	6,789,147	科研費補助金購入備品他
	聖隷クリストファー-高等学校2015年度卒業生様	1,274,400	電子オルガン
	クリストファー-こども園2015年度卒園児様	199,800	記念植樹3本(クヌギ、ネムノキ、マテバシイ)
	その他	411,283	図書
	合 計	8,674,630	

寄付金合計

58,489,576

(3) 補助金の状況

(単位:円)

補助金名称	交付団体	施設	決定金額
私立大学等経常費補助金	日本私立学校振興・共済事業団	大学	245,700,000
理科教育設備整備費等補助金	文部科学省	中学	115,000
私立学校経常費補助金	静岡県	高校	291,865,000
		中学	50,505,000
		こども園	2,604,000
高等学校等就学支援金事務費補助金	静岡県	高校	806,000
私立幼稚園緊急環境整備事業費補助金	静岡県	こども園	997,000
結核健康診断費補助金	浜松市	大学	346,824
		高校	252,720
私立学校教育振興事業費補助金	浜松市	高校	1,431,424
		中学	264,576
施設型給付費	浜松市	こども園	125,256,410
私立保育所等入所児童処遇向上費補助金	浜松市	こども園	9,783,800
私立保育所等事業費補助金	浜松市	こども園	6,342,000
浜松市幼稚園型一時預かり事業費補助金	浜松市	こども園	1,682,000
合計			737,951,754

(4) 関連当事者等との取引の状況

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係の内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
理事長	長谷川 了							当法人の借入に対する債務被保証(注1)	975,260,000		
理事	山本 敏博			社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事長			設備の賃借	実習控室借用料(注2)	3,888,000	教育研究経費	
							健康診断委託	学生生徒検診委託料(注2)	3,680,906	教育研究経費	
							実習受入	実習受入謝礼(注2)	4,760,500	教育研究経費	

取引金額は消費税込み

(注1)当法人は、金融機関等からの借入に対して、理事長 長谷川了より債務保証を受けており、取引金額は平成28年3月末残高である。
なお、保証料の支払いは行っていない。

(注2)理事 山本敏博が、第三者(社会福祉法人 聖隷福祉事業団)の代表者として行っている取引である。

(5) 経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、私立学校への適切な指導を行うために、学校法人の経営状態を定量的な指標により14通りに分類しています。この指標に基づき自己診断したところ、本学園は事業活動収支差額比率6.7%で、A3ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。

